

第6期雄武町総合計画後期基本計画 策定審議会第2回総務・行財政部会 議事録

【日 時】 令和4年11月8日(火) 18:30~20:15

【場 所】 雄武町役場別館 大会議室

【出席者】 中島 克弥 部会長 三浦 健一 部会長代理
田口 洋 部会員 清水 伸一 部会員 宮本 堅 部会員
(欠席者) 村岡 昌信 部会員
(町) 事務局～横田財務企画課長 渡部財務企画課長補佐
櫛山企画調整係長 豊田企画調整係
説明員～林総務課長 大水住民生活課長
藤川税財管理課長 村田消防副支署長

【会議次第】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事
(1) 第6期雄武町総合計画後期基本計画(案)について
- 4 その他
- 5 閉会

【配付資料】 ・第6期雄武町総合計画後期実施計画(案)

【議事録】

- 1 開会(開会時刻:午後6時30分)～ 財務企画課長

2 部会長あいさつ

「皆様、大変お忙しい中、おつかれさまでございます。本日は第2回専門部会ということで、先日の審議会で事務局から提示のあった後期基本計画案の具体的な審議を行うこととなっております。先に開催された専門部会において、委員の皆さまから出されたご意見が、すべてではありませんが、この計画書に反映されているかと思えます。そのあたりも含めまして、皆様からのご意見をいただきながら、会議を進めていきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。」

(以後、中島部会長が司会を進行)

3 議事

(1) 第6期雄武町総合計画後期基本計画(案)について ～承認

資料に基づき、基本施策の各単位施策の内容について企画調整係長が読み上げ説明後、基本政策ごとに質疑応答を実施。

【政策目標4 快適感を満たす環境のまち・雄武】

●基本施策4-17 消防・救急・防災体制の強化

(部 会 員) BCP(業務継続計画)について、町内各事業所の策定状況は把握しているか。

(町) 今年度、町としての業務継続計画を策定しているのだが、町内事業所の策定把握調査はまだ実施していない。

(部 会 員) 本団体においてもBCPを策定しており、理事会で承認を受ければ策定完了という段階まで来ている。ただ、具体的な内容、例えば大地震が起こった際にどのようにすぐ業務を再開するかを考えると、まずは命が最優先だということから始まるため、作成するのが難しい。消防など、様々な知識を有している団体からノウハウをいただけたらもっと簡単に策定できたかと思う。

(部 会 員) ほとんどの金融機関でBCPを策定している。話題が変わるが、防災訓練の規模はどのくらいなのか。

(町) 「総合防災訓練」といって、町、自衛隊、北海道、気象台、警察、消防が参加し、町民も含め、200人程度が参加する規模を想定している。令和元年度に魚田地区をモデルに実施したのを最後に、ここ数年はコロナ禍のため実施できていない。本訓練は自治会とも協力して実施することとなるため、全町的な実施は難しく、現在は単独の自治会を対象とした避難所運営訓練や、役場職員を対象にした訓練などコンパクトに実施しているのが実情である。

- (部 会 員) 我々の BCP もそうなのだが、本当の大規模災害が発生した時、例えばミサイルが飛んできた場合、あまり役に立たないと思っている。BCP の完成度は大なり小なりあるかと思うが、町全体が津波に飲み込まれた場合など、そういった想定はしていないと思う。ウクライナの戦争が起こることも想定していなかったため、(戦争に巻き込まれる) 可能性もゼロではないかと。自然災害についても近年増加しているので、難しいかもしれないが、壊滅的な災害が起きたと想定した時に、避難場所をどこにするかというような訓練をしたほうが良いかと思う。
- (部 会 員) 雄武町は過去に 2 回大火が発生しており、市街中心地に甚大な被害を及ぼしたが、数十年経過し、町民の意識が薄くなっているような気がする。
- (部 会 員) 大火災というのが雄武町としては現実的に起こる可能性が高い災害かと思う。
- (町) 最近、冬場のブラックアウト (大停電)、オール電化の住宅が増えてきているため、暖房が使えなくなることも想定される。大地震、大火災、ブラックアウトを想定した訓練を、毎年、想定災害を変えながら実施していこうかと考えている。
- (部 会 員) 私の自宅も電化住宅なのだが、確かに停電した時どうしようかと悩んでいる。今、ガソリン車で発電して家に電気を供給するものがあるが、ああいった物を購入する際の補助金があるとありがたいと思う。話題が変わるが、数年前、テレビで「雄武町に 3 m の津波が襲う」というシミュレーションをやっていた。町ではそういったシミュレーションはしているか。外国で 3 m の津波が 25 km 遡上したという報道を聞いたことがある。雄武町で 25 km 遡上すると壊滅的な被害となる。そうなった時にどこまで逃げるかということがある。
- (町) 町で 5 年前に作成した「防災マップ」は 6 m の浸水を想定して作成した。データが古くなったため、今年度新たに作成している最中である。紙のマップのほか、津波による浸水イメージを 3D デジタルで可視化できるような動画を作成しており、来年春頃の公開を予定している。
- (部 会 員) 何年か前に津波注意報が発令されたことがあったが、海岸線に住む住民の避難意識が薄かったように思える。
- (部 会 員) ちょうどその時海岸線近くにおり、逃げようとしたら押瑜されてしまった。当時は、例えば、3 m の津波であれば海拔 3 m 以上の高いところに行けば大丈夫と思っている人がいた。現在は色々な報道などにより実際はそうではないということがわかってきたと思うが。

- (部 会 員) 町内の各地に、例えば「ここは海拔 15mです」というような看板があるが。
- (部 会 員) 確かに海拔 15mなのだけれども、3 mの津波が遡上すると、海拔 15mの場所にも水は来てしまう。その辺りのシミュレーションをしっかりとっておかないと、「私は海拔 15mの場所にいるから安全なんだ」と思ってしまう人が出てしまうため、「違うんだよ」と伝えるためには、書き方など、もう少し丁寧な説明が必要かと思う。
- (部 会 員) 確かあの時、町でもアンケートか何かをとって、避難した町民の割合がとても低かったと記憶している。
- (部 会 員) 1 回目の際はまだ避難した人がいたが、実際には津波は来なかった。そのため、2 回目の際は「来ないだろう」と思って避難者が少なくなったのではないか。
- (部 会 員) 地震が起こる場所によって、来る津波も変わると思う。当時（津波注意報が発令された際も実際に津波が来たの）は北海道でも南のほうだったはずである。
- (部 会 員) 消防車が来て、家に電気がついていて「避難してください」と言っても、「どうせ津波は来ないだろう」というような防災に対する意識になってしまっている。起こってからでは遅い。
- (部 会 員) 択捉島沖の島と島の間（海峡）辺りでマグニチュード 8 クラスの大地震が起こった場合、おそらくオホーツク海沿岸にも津波は入ってくると思う。オホーツク管内は地震が少ないため、地震に対する意識は少ないと思う。（出身である）他管内では、地震が来て津波警報が出たらすぐ逃げるとするのが何よりも大前提である。生家は海岸から 10 数 km 内陸に入ったところにあるが、海拔は 5 m ぐらいしかない。
- (町) 今、地震想定を国において実施しているが、津波の想定として太平洋側（釧路・根室）は 25~30m である一方、オホーツク海側は 9~10 m となっている。ただ、あくまでも国の想定であるので、実際発生した場合はその限りでないと思われる。
- (部 会 員) ただ、幸いなことに雄武町をはじめオホーツク海沿岸はリアス式海岸のような囲まれた地形でないため、波が極端に高くなるといったことはあまり無いけれども、だから油断する。
- (部 会 員) 防災の実感が無いと思われる。雄武町は実際に火災を経験しているのだから、改めて防災の意識を持たなければならない。防災の意識づけを町主体でやるのか、それとも、ちょっとしたことから、地域、自治会の小さな単位から始めて機運を高めていくか、どちらが大事かということになると思う。

(部 会 員) 先ほど部会員が言われたように、やはり停電である。北海道の火力発電所は燃料輸送の関係で港の近くに立地している。仮に 10m の津波が来たら、おそらく海岸沿いの発電所、特に太平洋側の発電所は皆全滅だと思う。そうなると、簡単な停電では済まなくなり、大停電が起きる可能性は高い。北海道全体の防災計画の中で、(胆振東部地震の際と同様な) 厚真火力発電所のダウンという基準で想定しているのであれば、差し迫っている千島海溝の巨大地震が起きた際には壊滅的な被害が出るのではないかと思う。停電の影響は、私たち一般の住民よりも、基幹産業のほうがかなり大きい。その辺りも含めた防災を考えておく必要があると思う。私は大地震を 2 回経験している。そのうちの 1 つが小学生の頃に起きた十勝沖地震。小学校の漆喰の壁が全て剥がれ落ち、石炭のダルマストーブがひっくり返ったほどの地震であった。幸い火事にはならなかったが、雪の中を這って避難した記憶がまだ残っている。

(部 会 員) やっぱり地震は怖い。「オホーツク海側は安心だ」なんて言っているけど、もし、カムチャツカ半島で火山が爆発して地震が起きたら、遮るものが無いため、どの程度の大きさになるかはわからないが、オホーツク海沿岸に津波が押し寄せると思う。やはり、「自然現象に対する備えをしておかないといけない」ことを、町民の意識に植え付けるなど、防災に対する意識改革を求めているかといけないと思う。

(部 会 員) 町内全家庭にハザードマップが配られているかと思うが、マップが配られていること自体認識している人がとても少ない。老人クラブに行ったときにマップの話をして、ほとんどの人が知らない。せっかく良いマップがあるのに、どこかへ仕舞っていて見えていない。

●基本施策 4-18 防犯・交通安全の推進

※74 ページの文中『令和 4 年 12 月 13 日に死亡事故ゼロ 2,000 日を達成し』とあるが、計画の公表が当該日以降となることを想定した表記となっており、公表までに事故が発生した場合は文言を修正することとなる旨住民生活課長から補足説明。

(部 会 員) 75 ページ下部、達成目標の「治安の満足度」の現状値が 29.3%とあるが、なぜこんなに低いのか。

(町) 他の基本施策にも当てはまるのだが、達成目標中で「満足度」とされているものは、令和 3 年度に実施したまちづくりアンケートの結果を基にしているが、令和 3 年度の実施分については、軒並み極端に数値が下がっている。具体的な検証、分析はしていないが、1 つの要因として、新型コロナウイルス感染症の

影響により、イベントを中止しているなど、日本が不景気になっていることに対する町民の不安が数字に影響しているものだと思われる。実際に施策が弱く本当に満足度が下がっているというのも実際にはあると思うが、数値の落ち込み方が異常であるため、鵜呑みにはできないと思われる。

(部 会 員) 詐欺防止のための、いわゆる「留守番電話サービス機能付き電話機」を全国防犯協会連合会において推奨していたが、雄武町内では設置した人はどれくらいいたのか。町内で設置した人をあまり聞いたことが無かったため、確認した。

(町) (町で把握している(電話機設置の助成制度を活用した)分については)ここ数年は少ない。助成制度ができた頃、初めの3か年は、結構な制度の利用があった。その際に必要な方には行き届いたと思われる。ただ、これから必要になる方は出てくると思うため、制度としては継続している。

(部 会 員) 以前から比べると、交通指導員が歩道に立つ頻度は減ってきているのか。

(部 会 員) 確かに、各町内の行事、お祭り、イベントなどでの交通整理の機会は減ってきている。産業観光まつりなど、それぞれのイベントでは、主催者においてプロのガードマンなどを業者に依頼している。

(部 会 員) 毎月1日と15日に街頭に立っていることは続いているのか。

(町) 今も継続している。

(部 会 員) その他、年間合計60日、交通安全指導を実施している。未就学児、小学生の事故はここ何年も重大な事故は起こっていない。大変ありがたいことである。

(部 会 員) 都会では、キックスクーターなど、昔では考えられないような事故が起きているが、新しい乗り物だけでなく自転車のマナー問題も一考であり、田舎だからといって「心配しなくても良い」といったことにはならない時代になってきたと思う。

(部 会 員) 小学校の安全教室では警察署に依頼をして、警察官が指導を実施しているかと思う。交通指導員が教えるよりも実際に警察官が指導したほうが、危機感を持つことができ、マナーが定着すると思う。別の話題になるが、釣りに関して、太平洋側の町の良いところは、皆、禁漁、立ち入り禁止にしていること。基本的に河口から何kmは禁漁という規制があるが、それ以外にも良い釣りスポットと言われている場所は立ち入り禁止となっている。釣り人のマナーと、水産資源、今、赤潮になって資源の枯渇が心配されているため、規制されている。そのため、今オホーツク海側に釣りに来ており、今後、ますます釣り人が増えていき大変なことになってしまうと思う。

(部 会 員) 枝幸町から興部町沙留までの間でサケ釣りをしている人のマナーは正直あまり良くないと思う。地元住民がいるかもしれないが、地域外から来た釣り人も居るだろうし、魚卵だけ持ち帰って魚は捨てていくなどマナー違反が酷い。釣りのマナーの啓発に関しても実施していく必要がある。

●基本施策 4-19 情報通信網の整備・充実

(部 会 員) 農作業の自動化などは話題に出ているのだろうか。十勝地方の畑などと比べて規模が小さいため、自動トラクターのような機械の導入はあるのか。

(町) 酪農においてはまだそこまで進んでいないが、畑作だと、町内法人が上幌内のそば畑で自動トラクターを実施したいと考えているかと思うが、周辺に GPS 基地局を建てないといけないため、相当な金額がかかるかと思う。国もスマート農業を推進しているため、補助金の活用も考えられる。本町においても農務係においてスマート農業の調査検討を行う事業を立ち上げ、トラクターに限らず、大規模化した酪農に関しては AI を活用した搾乳ロボットや自動給餌機については既に導入している法人もある。トラクターはまだである。

(部 会 員) 町内で畑地の区画整備をしているかと思うが、あれも大規模化、自動化に向けたものであるのか。

(町) 国営で区画を大きくしている事業であるが、そちらのほう（大規模農業化）に向きたいのと、農協においてコントラクターという、農家が行うのではなく、その組織が牧草の収穫を請け負うというようなサイクルにしていくために実施している。トラクターもかなり大型化しているため、国営で牧草地を大区画化し、そういった作業も効率良くやれるようにするため実施している。

(部 会 員) 私の妹の家も法人化したのだが、トラクター一式で 1 億 5 千万円かかったという。その代わりに、仕事の大部分を自動化しているため、少人数で作業を実施できているとのことである。今の情勢では電気代や飼料・資材の経費が高騰しており、国等の補助金がないと大規模な設備投資が難しく、やりたくてもやれない。今までは酪農バブルであったが、今年は特に厳しいと思う。

(部 会 員) 興部町や枝幸町では、家畜の糞尿をエネルギーに転用していると聞かすが、雄武町はそういった分野で名前を聞かない。

(町) 雄武町も平成 29 年から家畜糞尿を活用したバイオマス発電についてずっと協議してきている。興部町や西興部村では既に実施しているが、興部町では、公害（悪臭）対策として町が実施した。雄武町内でも、ある協業法人は独自に家畜糞尿を活用して発電し、売電を実施している。町でもある程度の計画を策定

していこうとしたが、FIT（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）の価格が値下がりしたこと、雄武町周辺における送電線の容量が足りないこと、増強するためには町独自で設備投資する必要があること、全て売電で買って欲しくなくなったこと等、収支の観点で以前と状況が変わっており、また、酪農における今の情勢を考えると、なかなか前に進めないという状況である。国のバイオマス産業都市構想の認定を受け、これから家畜糞尿のバイオマス発電を進めようという時に、色々な環境が変わってしまい、農家が今年このような大変厳しい状況にあり、なかなか前に進めないのだが、事業としては今のところ、業者に委託して採算ベースの計算などを実施している。

(部 会 員) 国の政策も、太陽光発電が最たるものだろうと、最初の計画では「これだけのコストをかけて、これだけ発電すれば、これだけの販売利益がでる」という試算に基づいて投資しているのだが、段々なし崩しになり、買取価格を下げ、今では、設置費用の元を取るのに10年では云々（元を取れず、10年以上かかる）というデータが出ている。そのため、バイオマス発電にしても買取価格は他の自然エネルギーと同じように下がっていくだろうから、莫大な投資が必要になるため、なかなかおいそれと手を出すにはいかないと思う。（管内におけるバイオマス発電としては）最初、湧別町に小規模のバイオマス発電所ができ、（近隣管内では）別海町で大規模なバイオガス発電所が稼働しているが、その頃は買取単価が高く、「これならうちの町でもやってみてもいいのではないか」という話に各地でなっていたが、情勢はその頃と比べて変わっている。自然エネルギーの負担金（再生可能エネルギー発電促進賦課金）を毎月電気料金で支払っているが、そのお金はどこへ行っているのだろうか。

(町) 国が（再生可能エネルギーを）推進しているが、買取価格の低下はそれに逆行しているように思える。

(部 会 員) 雄武町内で携帯電話が繋がらない地域は、上幌内以外にはあるか。

(町) 町民が居住している地域に関しては100%携帯電話がつながるようになっている。ただ、山の中や人が住んでいない場所については、携帯電話はつながらない。それらの地区についても、例えば交通事故が発生した際に救急車を呼べないという状況もあり得ることから、そういった場所（不感地帯）の解消について、オホーツク管内共通の課題として、各種期成会において国や北海道に働きかけているところである。

(部 会 員) マイナンバーカードの普及や、新型コロナウイルスワクチンの接種について、

意外と雄武町の若者は非協力的なような気がしている。ある程度年配の人は4回目のワクチンを打っているのに、若い人の中には全く打っていないという人もいるみたいである。子どもにワクチンを打たせるのを控えたいという親の気持ちもわかるし、様々な個人的な事情があるかと思うが、マイナンバーカードの交付率とワクチンの接種率が大体同じように見えるため、雄武町はある一定の年齢層が受けていない気がしており、もう少し若い人がワクチンを打ってくれないと困る。これだけ感染症がまん延しているのはあなた方のせいではないのかと思ってしまう。もう少し何とかしてもらいたい。

(部 会 員) ワクチンの接種率やマイナンバーカードの交付率について、オホーツク総合振興局は他管内と比べて低いと思うのだが、どうなのか。

(町) ワクチンはわからないが、マイナンバーカード(の交付率)は基本的に郡部が低く都市部が高いという構図にはなっている。

(部 会 員) 保険証に加えて運転免許証もマイナンバーカードへ一体化することになるのであれば、作らざるを得なくなるのだけれども、やはり、ある程度知識を持っている若い人は(カードを作ること等に)かなり警戒している。

(部 会 員) マイナンバーカードを保険証として使う際には、都度、手続き(読み取り機にカードをセットして暗証番号を入力する作業)が必要であるというネックがあり、高齢者には難しい。

【政策目標5 連帯感を高める協働のまち・雄武】

●基本施策5-20 町民主体のまちづくりの推進

(部 会 員) 広報紙について、自治会組織に入っていない町民で、個別に発送してほしいという要望はあるか。

(町) 現在も、自治会に加入していないが広報紙が必要である方から申出があれば、その方に送付しているところである。議会からも質問があり、町公式ホームページにおいても周知しているところではあるが、なかなか申出者の数は伸びていない。およそ30件程度である。

(部 会 員) (自治会に)加入しないという方がいるのだが、そういう(町の)情報は知らないとのことである。しかしながら、何か必要不可欠な情報が広報紙で周知されることを見逃して、「あなたに不利益になるようなこともあるんだよ」というようなことを話しても、「そんなもん知らない」と言われてしまったら何も言えない。例えば、おかげさまで私の住んでいる自治会(地区)内に住宅がどんどん建っており、一軒家の方は長く住もうと考えているため自治会に加入するが、

集合住宅の方は加入しない方がかなりいる。特に、ある程度年配になってくると、自治会費も払いたくないというのが本音であると思うが、「自治会を抜けた」と言われたときに、町の情報が受けられなくなり、下世話な話ではあるが、最終的にはお葬式についても「自治会からは費用・人材も出せませんよ」という話をしたら、「うーん」と言われるが、その後は何も反応は来ない。そういったことが以前あったため、広報紙について質問した。

(部 会 員) 「町民主体のまちづくり」とあるが、「ボランティアの精神」といった文言を単位施策の文章内のどこかに入れてほしい。要は、「ボランティアは社会福祉協議会でやっている」という意味合いにしかならないところではあるが、やはり、行政の中にもボランティアの精神があっても良いのではないかと思う。

(町) 56 ページ (基本施策 2-9「社会福祉の充実」) においてボランティアの文言があるが、これは福祉の部分しか謳っていない。

(部 会 員) (79 ページの単位施策 5-20-1「地域づくり活動の促進」において)「非営利公益的」という文言にボランティアの意味も入っているかと思うため、文章はこのままで良いかという感じもするのだが。

(町) (単位施策 5-20-1 における文言は) 観光協会など、地域づくりイベントを自主的に開催するような組織を育成するというイメージであるかと思うが、精査した上で、次回の専門部会までに回答したい。

●基本施策 5-21 多様な交流の促進

(部 会 員) 会議等への女性の参画について、委員・役員などを依頼しても、例えば、浜の奥さん方に拒否されてしまう。女性の意識改革を行わないといけないのではないかと思う。雄武町の半数以上は女性であるのだから、色々な分野で女性の参画があっても良いかと思う。

(部 会 員) 以前は各自治会に婦人部なり女性が活動する組織が皆あったのだが、だんだん少なくなってきた、婦人部がある自治会は少ない。当時は女性のリーダーが沢山いたが、その後、活動の後継者がいない状況である。会議における女性の参画が少ないという話だが、雄武町の場合は女性も働き手として戦力になっているため大変忙しく、「仕事の他にやっつけられない」と言われればそれまでだが、それでよしとしている訳ではないと思う。

(町) 町民の半数以上が女性であるため、こういった会議の委員も女性の比率をもっと上げなければいけない。女性が参画しやすい環境づくりとして、会議の内容、委員の状況に応じて、例えば日中開催・夜間開催、短時間の開催など、時間設

定を工夫するなど、ルールづくりをする必要があると思われる。

- (部 会 員) 委員になるという自己の意識改革も必要かと思う。ぜひ色々な意見を話してほしいのだが、委員を引き受けても、いざ会議が開催されると欠席する方もいる。
- (町) 総合計画策定審議会の委員は 28 名いるが、女性は 7 名、全体の 25% を占めている。他の各種委員は全体の 10% 程度に留まっており、昔から少ない。委員を引き受けていただきやすい方に集中してしまうということも一因であると思う。
- (町) 今の時代、オンラインでの会議への参加も可能になってきているため、家庭（自宅）からオンラインで参加するということも可能かと思われる。
- (部 会 員) 私は逆に「男女共同参画」ということに違和感を覚える。あまり女性、男性という意識をしていない。私の職場では女性が強く、意見としても女性の意見が圧倒的である。おそらくどこも同じような状況になっているかと思うため、改めて今頃文言として書くのもどうなのかと思う。実際はもっと男女共同参画は進んでいるかと思う。（オンライン参加について）インターネット環境があるため実施しても良いかと思う。家庭でも女性の意見を聞いて男性が決めるといったパターンもあるため、我々が今言っていることも、知らないうちに女性の意見を相当反映していると思う。（委員の依頼について、）男女問わず難しくなってきた。委員でなくても皆素晴らしい意見を持っているため、意見を吸い上げる方法を考えていかないといけないと思う。いつも同じような人が委員になっているため、色々な方法で、特に若い方の意見が聞けるような機会があると良いと思う。
- (部 会 員) 委員の公募制度があるが、状況はどうか。
- (町) なかなか反応は薄い。応募多数となり選考になることは減多に無い状況である。
- (部 会 員) 人権擁護委員の活動の中に「男女共同参画」という大命題があるが、国として「委員に何をやってもらうか」という方向性のコンセンサス（合意形成）がとれておらず、ただ委員に「活動してください」と課題が渡されるのみである。そのような状況では地域に訴えかけても実際には女性は反応してくれない。国として「女性を参画させたい」と口では言うけれども、具体的にどう進めたいのかが見えてこない。
- (部 会 員) 教育委員会に ALT（外国語指導助手）がいると思うが、学校等への指導の他に色々な分野で活動するとなると制限のようなものはあるのだろうか。昔の ALT は祭りに参加したりするなど地域住民とふれあっている様子を見かけたが。
- (町) 個人で行う活動について特段制限はないが、地域との関わり方については ALT

自身の考えや性格によるものであり、また、ここ数年はコロナ禍で地域との交流が行えていないこともあるため、一概に良い悪いで判断してはいけない。

(部 会 員) 技能実習生として働きに来ている外国人については、日中仕事に追われてなかなか町内で活動しようとしてもできないと思う。

(町) 一部の自治会では、農業に従事する技能実習生を地域の会合に呼ぶなどして地域との交流を実施しており、他の自治会では祭りへの参加なども昔はしていた。これまで積極的に地域住民と関わるような取組がなかったことから、町において、技能実習生との交流会を計画しているのだが、昨年はコロナ禍のため実現できず、記念品を渡すことだけに留まっている。今年度も予算を計上しており、交流会を開催する予定である。

(部 会 員) 地域とのコミュニケーションをとれば、その人のことはだいたいわかってくるが、そのきっかけが無い状況である。一番悪いのはコロナ禍だと思う。話題は変わるが、NHK で移住に関する番組が放映されているが、想像していたよりも多くの方が都市部から地方に移住していることがわかり驚いた。近隣自治体で移住した人の話を聞くと正直羨ましく、雄武町は地味な町だと思ってしまった。

(部 会 員) 移住するには、仕事があること、交通の便が良いこと、生活環境が整っていること、様々な援助（支援制度）があることなど、いくつか条件があるかと思う。

(町) 人口が増えている自治体は札幌市や旭川市の近郊であり、仕事に通えて、金融機関が近く、空港にも近いという地の利がある。

●基本施策 5-22 効果的・効率的な行政経営

(部 会 員) 83 ページの達成目標に「人事評価制度に基づく人事管理の推進」とあり、現状値が「給与への反映」、目標値が「人事管理の推進」とあるが、具体的にはどのようなことなのか。例えば、給与への反映であれば、払い方が変わる事なのか、人事管理であれば昇進が違うというようなそういったことなのか。

(町) 人事評価制度については、平成 28 年度に地方自治法が改正されて導入された制度であり、基本的には「人事評価制度を各自治体が導入して、その結果を給与に反映しなさい」ということであったのだが、なかなか評価する側がうまく評価できない、例えば、A さんが評価したら高くて B さんが評価したら低くなる、というようなものがあり、当町では制度の試行期間が続いていたが、令和 4 年 1 月 1 日の定期昇給から人事評価の結果を給与に反映させることになった。具体的には、評価を実施して、その結果を、例えば標準である B 評価となれば通常どおり 4 号俸アップ、それよりも少し劣る C 評価となれば 2 号俸しか上が

らない。更に、もっと悪い D 評価となれば昇給なし、逆に、「あなたは頑張りました」という良い評価（A 評価）になれば 6 号俸アップ、更にもっと良い S 評価になれば 8 号俸アップ、というような形で、職員個々人の努力や、業務目標をどれだけ達成できたかによって給与に反映させる、ということにした。また、給与の面だけでなく、例えば役職、普通の係から係長になる、又は係長から管理職になる際も人事評価結果を参考にするという事になった。

(部 会 員) 職員の満足度、納得感というものはどういった状況なのか。他意はなく、興味があって伺いたい。

(町) 人事評価制度は、公平性、納得性、透明性が一番大事だといわれている。先程言ったとおり、評価する側の基準を統一しなければならないということで、平成 28 年度に導入してからほぼ毎年、評価者に対する研修を実施し、人事評価が適切に実施されるようにしている。更に、評価にあたっては、前提として各個人が目標を立てた際に評価者（管理職）と面談をして、その目標が適切なのかどうか話し合いをした上で目標を確定する。そして年度末に評価を実施するのだが、まず、職員が自己評価を行う。それを基に管理職がその評価が合っているかどうかを評価し、更に、管理職が実施した評価と職員の自己評価について面談を行い、「こういう評価にしましたよ」と職員が納得した上で（課としての）評価を決める。更に、各管理職によって評価基準がバラバラにならないよう、全体を全て見ることができるように 2 次評価として副町長が確認する。最終的には更に町長も確認するなど、段階的にチェックしているため、まだ給与に反映したばかりであるため完璧とは言えないかもしれないが、公平性、納得性、透明性がとれるような工夫をしている。

(部 会 員) (83 ページの単位施策 5-22-3)「公共施設の適切な管理」について、各地区に福祉館があるが、老朽化しており見てみずばらしく感じるため、きちんと整備していく必要があると思う。上幌内地区は建物がそのまま残っており、林の中に埋もれている状況であるため、見ていて哀れだと感じてしまう。幌内・豊丘小学校や、その周辺施設についても、最大限、町として他の用途で活用するようなことはできないのか。立派な建物なのでもったいない。

(町) 福祉館については、地区内の世帯数が減少していることもあるため、すべての町有施設に当てはまることではあるが、施設の統廃合を含めて視野に入れて修繕や建替えを行うこととなると思われる。これまでは修繕して長く使用するという考えで来ていたが、施設の統廃合、転用も含めて今後考えていかなければ

ならないと考えている。豊丘小学校については現在も教育財産（教育委員会の管理）である。町有財産である幌内小学校については今も活用方法が決まっていない。

（町） （活用方法については、当初教育財産であったことから）教育委員会においてまず検討し、幌内自治会にも「使いませんか」という話はその時点で行っているが、施設が大きすぎて使えないという返事があったことから、教育財産から町有財産となったという経緯がある。

（町） 栄丘小学校はパン作りに有効活用している。豊丘小学校については現在も教員住宅に教員が居住している。幌内小学校については、校舎は活用できていないが教員住宅は町有住宅として活用している。何かに活用するにしても、基本的に校舎と教員住宅のセットでないとなかなか有効活用できない。

（部会員） 現在ネックだと感じているのは、単身者用の住宅が少ないことである。社会福祉協議会が指定管理者となって運営している特別養護老人ホームにおいて、介護職員として働きたいということで面接に来て、空いている単身者用住宅が幌内の町有住宅しかないとなると、わざわざ幌内から雄武市街地まで通うというのは酷であるため、何とか町でも考えてもらいたい。

（町） 単身者に限定すれば、勤労者住宅も新たに完成し、5戸募集をしているため、よろしければ検討いただきたい。

（部会員） （83ページの単位施策5-22-4「財政の安定化」で）ふるさと応援寄附金の増額と書いているが、何か具体的に町として推進しているものはあるか。

（町） ふるさと応援寄附金については、令和3年度の実績で約3億2,900万円であり、令和2年度が約1億8,750万円で、1億4,000万円程度増えている。令和元年度が約8,300万円で、1億円程度増えており、今のところ右肩上がりが増えている。（増額を図る方策としては、）令和元年度に寄附金額に対する返礼品の金額の割合が上限3割となり、寄附者も自分の欲しい返礼品に対して寄附をおこなっているが、令和3年度の本町の返礼品ベスト5がホタテの玉冷であった。令和2年度の返礼品は60品目程度しかなかったが、令和3年度は約150品目まで増えた。また、ふるさと納税ポータルサイトについても当初1件のみであったが、現在は6件まで増やしたことで寄附金の増額に寄与している。令和4年度については10月末現在で2億円を超えている状況である。例年11月、12月に寄附が集中するため、昨年度よりも寄附金額が増額する見込みである。

（部会員） （燃料費の高騰等の影響を受け、）返礼品を発送するのに随分運賃がかかっている

るかと思う。以前テレビのニュースで、枝幸町における返礼品の発送について、各業者が個別管理する方法から（町において発送する品物を一括管理し）業者を一本化して経費削減を図っていることが報道されていた。（寄附金額を）紋別市まで増やせとは言わないが、これからも工夫できる点があるかと思う。

（町） 令和3年度において紋別市は約150億円の寄附があった。

（部会員） やはりふるさと納税は海産物が人気であり、雄武町も海産物のほか牛肉もあることから、その辺りを上手にアピールして、これからも寄附金額を増やしてもらえれば、町全体も潤うのではないか。町が妙な商売をやって儲けようということよりも、こっちのほう（ふるさと納税で雄武町の特産品を返礼品として提供し、町内の加工業者や1次産業従事者に利益が波及すること）が良いかと思う。要は工夫次第であり、行政職員の腕の見せ所であるため、期待している。

（部会員） 雄武町の返礼品について、ホタテの玉冷や牛肉以外にはどのようなものがあるのか。

（町） 韃靼そばや「雄宝」（鮭）の山漬・寒風干しの切身パック、今年からは初の試みとして、漁師から直接、観光協会を通して塩水ウニなどを提供いただいている。正規品だと、どうしても量的な面で紋別市に負けてしまうが、例えば、ホタテ玉冷のAフレーク、Bフレークなど、味は変わらないが形が欠けていたりするものを、正規品よりも1ランク寄附金額を下げて返礼品として提供することで人気になっている部分もある。

（部会員） 手前味噌ではあるが、雄武町や枝幸町などの北オホーツク地域の海産物というのは都会の人に物凄い人気である。同じ北海道でもこの地域の海産物が好まれている。数年前、息子が東京の会社の人と一緒に都内の海産物専門の飲食店に行った際、全てオホーツク海沿岸の自治体産のものであったという。店主いわく、宣伝をしなくても口コミで客が来るとのことであった。味を知ってしまうと、良い物は良いと都会の人もわかってきている。きちんとした取扱いをしていないと言ったら語弊があるかもしれないが、ホタテの玉冷にしても大きいと思っても水を含ませて大きく見せている物もあり、平然と売っている所もある。雄武町含め周辺自治体ではそのような妙なことをしていないだろうから大丈夫かと思うが。やはり、口コミは商売にとって重要なことであると思う。余談にはなるが、パークゴルフ協会主催の大会で、参加賞として鮭を1尾、全員に配付した。優勝した人にはもう1尾、ホタテの玉冷も付けて贈呈した。そう

したところ、参加者から「凄く美味しかった」と声をいただいた。新聞にも取り上げてもらえて、来年の事を考えると鮭を確保できるか不安であるが、様々な面で海産物の評判を上げることができているかと思う。

(部 会 員) ホタテの玉冷が1番人気であるとのことだが、雄武町は鮭の町である。鮭はどのような返礼品があるか。

(町) 鮭については切身にして真空パック詰めされたものを中心に返礼品として提供している。冷凍庫に保存することを考慮すると、都会の方には1本のままより切身パックのほうが好まれる。

(部 会 員) 町内団体ももっと工夫してもらって、新商品をふるさと納税の返礼品として提供してもらえれば、もっと寄附金額は増えるかと思う。

(町) 多くの町内団体・事業者に協力いただいている。これまで町外に出荷していた物もふるさと応援寄附金の返礼品用として提供いただいております、地域内での経済の循環の流れができています。

4 その他

下記の3点について、企画調整係長から補足。

○基本計画の策定にあたり、審議会委員のほか、広く町民から意見を求めるため、第3回策定審議会後から11月14日(月)まで、「第6期雄武町総合計画後期基本計画(令和5年度～令和9年度)(案)」のパブリックコメント(意見募集)を実施している。

○第3回策定審議会に配付した「答申に向けた意見(総務・行財政部会)」については、可能であれば次回の専門部会において提出いただきたい。

○第4回専門部会は予定通り11月9日(水)18時30分から開催する。今回配付した実施計画書に基づき、担当課から主要な事業を説明する。

5 閉会(閉会時刻:午後8時15分)